

令和8年南阿蘇村「二十歳の誓い」



令和8年南阿蘇村「二十歳の誓い」が1月3日、役場大会議室で開催されました。

今回の対象者は、平成17年(2005年)4月2日から平成18年(2006年)4月1日に生まれた95人で、うち71人が式に参加されました。

はじめに主催者の今村了介教育長から挨拶として「皆さんはすでにそれぞれの道を歩んでおられ、今後も人生を謳歌される訳ですが、『一の字 積の字 甚だ畏るべし』という江戸時代の儒学者佐藤一斎の言葉を贈ります。一の字は最初の一步(踏み出し)が肝心で、初一念(決心して、事を成し遂げるといふ信念)をもって人生の選択が必要であり、積はその積み重ね、という意味です。二十歳を機に更に自分を律し、自覚と責任を持ってこれからの長い人生、自分が決めた道をコツコツと邁進していきましょう。継続は力なり。失敗を恐れず、一步、一步踏みしめて、大きく成長されますことを願っております」との言葉がありました。

式では、参加者を代表し、金瀬拓海さんが「本日、無事二十歳を迎えられたのは、いつもそばで支えてくれた家族、共に笑い合い悩み合ってきた友人、そして指導して下さった先生たちをはじめ、多くの人たちの支えがあったからです。この場を借りて深く感謝申し上げます。また、周りの人に助けてもらったように、今度は私たちが誰かを支えられる大人へと成長していきたいです。これからも挑戦と学びにあふれたものになるよう努力を重ね、地域の一員として恥じない行動を心がけていくことをここに約束し、誓いの言葉とさせていただきます」と誓いの言葉を述べました。

このほか、村からの記念品を大津桔平さんが代表で受け取り、飲酒運転根絶宣言を塚元美空さんと佐藤晴さん、お礼の言葉を大山翔生さんが述べられました。

式典終了後には南阿蘇中学校の各クラスごとでの記念撮影が行われ、その後も参加者は同級生や保護者と談笑を交えながらにぎやかに写真を撮影していました。

二十歳の誓いのようす



①出席者を代表して誓いの言葉を述べられる金瀬拓海さん ②村からの記念品を受け取った大津桔平さん ③飲酒運転根絶宣言をされる塚元美空さん(写真左)と佐藤晴さん(写真右) ④お礼の言葉を述べられた大山翔生さん ⑤当日は、二十歳を迎える71人が参加 ⑥恩師を代表して峰武史先生から祝辞をいただきました ⑦⑧南阿蘇中学校のクラスごとに記念撮影

懐かしの友人たちとのフォトギャラリー



①中学校の陸上部での一枚
②③④⑤仲のいい友達と一緒に撮影
⑥⑦⑧小学校の同級生たちと。皆で当時は懐かしんでいました

二十歳の皆さんにインタビュー



大津 連蔵さん

懐かしい友人に会えた濃い一日でした。

現在は関東の大学に通っていますが、自然がたくさんあってゆっくり時間が流れる南阿蘇が大好きなので、卒業後は南阿蘇に帰ってきたいです。

育ててくれた両親には感謝しています。まだ負担を掛けませんが、恩返ししていきたいです。



清水 心春さん

二十歳になり、何でも自分ができるようになって嬉しいです。責任感があって自立した大人になりたいです。

現在は県外の医療系の大学に通い、中学生のころから志している救急救命士になるために勉強しています。女性にも安心してもらえるような救命士になれるよう、努力します。



清田 旺資さん

わくわくした気持ちで二十歳の誓いを迎えました。また友人と集まれる機会があればいいなと思いました。

4月から愛知県で働きます。初めて家族と離れて暮らすことになり、今は不安が大きいです。自分で決めた道なので離れた地でも精一杯頑張ります。家族に心配をかけないように、自分らしく生きていきたいです。